



「母や祖母を早く失く  
した私のために、世話  
する後人などは多数に  
あつても、私の最も親  
しく思われたい人はあ  
なただったのだ。大人  
になつてからは少年時  
代のようになり、いつもいっ  
しょにいたることができ  
ず、思い立つ時にすぐ  
に訪ねて来るような  
こともできないのです  
が、今でもまだあな  
たと長く逢わないでい  
ると心細い気がするほ  
どなんだから、生死の  
別れというものがなけ  
ればよいと昔の人が言っ  
たようなことを私も思  
う」